

経営比較分析表（令和3年度決算）

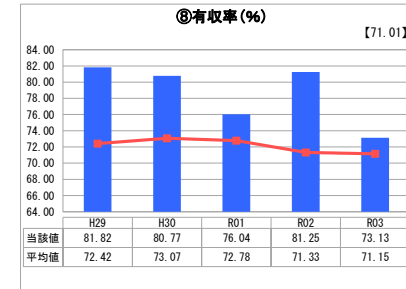
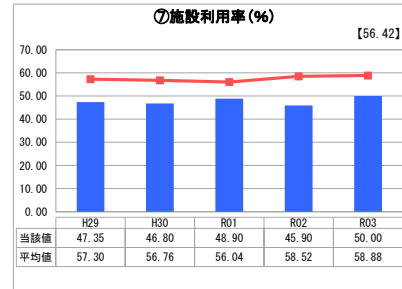
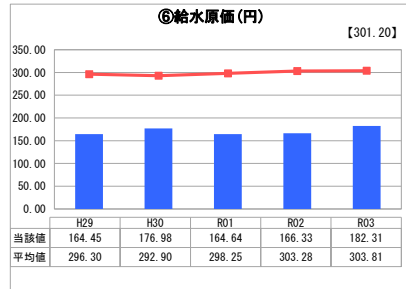
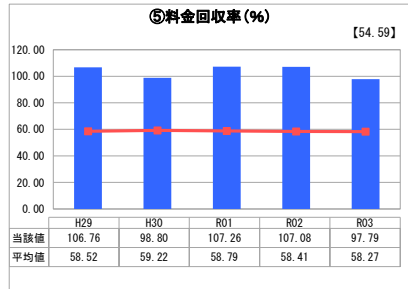
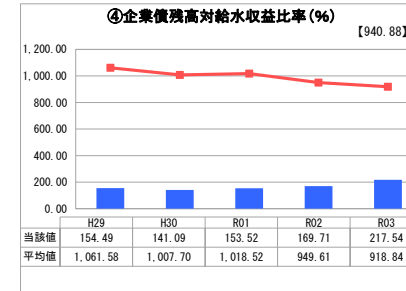
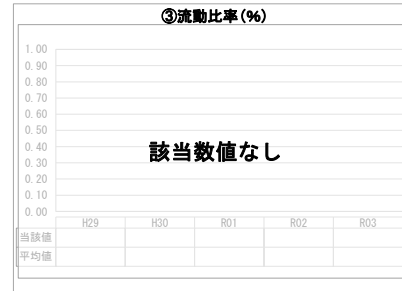
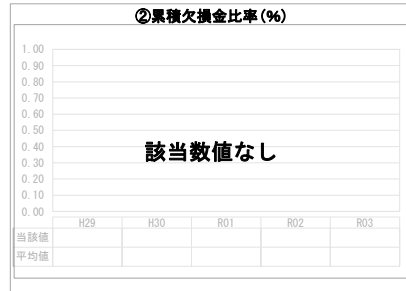
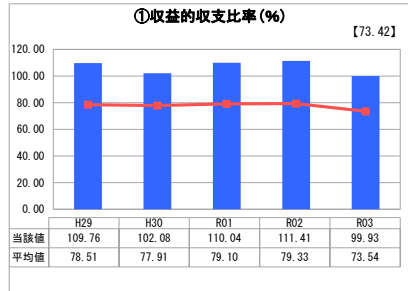
佐賀県 太良町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)	
-	該当数値なし	51.41	3,080	

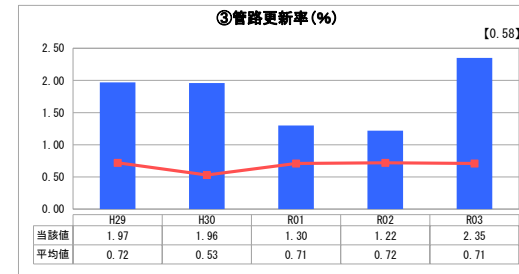
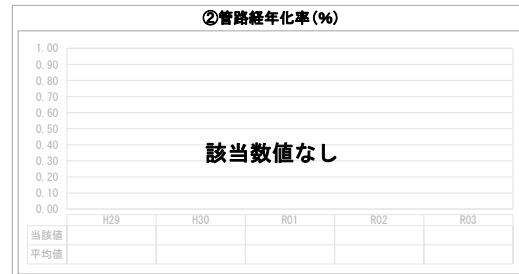
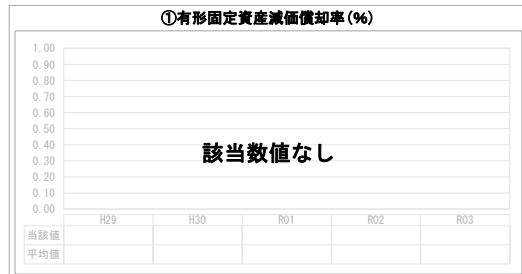
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
8,413	74.30	113.23
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
4,290	16.76	255.97

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①単年度収支が黒字であるため、収益の収支比率はほぼ100%となっている。今後、給水人口の減少に伴う収益の減少は否めない。
- ②類似団体・全国平均値と比較してかなり低指標であるが、令和元年度から企業債を活用し、計画的な施設更新を図っているため、今後は増加する見込みである。
- ③料金回収についてはほぼ100%であるため、健全経営と考える。
- ④過去4年と比較すると若干、増加している。給水人口の減少に伴い収益は減少していくため、維持管理費の見直しなど経営改善が必要と考える。
- ⑤類似団体・全国平均値と比較して低指標である。適切な施設規模を把握し、計画的な検討が必要と考えられる。
- ⑥低有収率地区の管路更新をすることで全体的な有収率の向上に努める。

2. 老朽化の状況について

- ③類似団体・全国平均値を上回る指標となっている。今後も計画的な管路更新を行い、老朽管の改善に努める。

全体総括

本町の簡易水道事業は6地区の簡易水道施設と7地区の飲料水供給施設から構成されている。今後、各施設の適正な規模等を検討し、限られた収益での健全経営に努めていく。